

Recherche 00070 カシュカシュフーディ仕様書

ニット用

パターンパーツ数 7

～付属品～

伸び止めテープ

サイズ		80	90	100	110	120	130
身丈		38	41	44	47	49.5	52
肩巾		19.5	21	23	25	27	29
身巾		27	28.5	30	32	33.5	35
袖丈		30	34	38	42	44.5	48
用尺	110 巾	70	74	92	103	110	115
	150 巾	60	62	64	67	72	82

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。  
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転  
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 二本針四本糸ロックミシン使用を想定しています。それ以外の場合は着用し辛くなったり、糸切れの原因になりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 作り方 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方角や伸びに注意しながら裁断します。

ノッチ(合印)を入れます

各部合印にノッチを入れます。

裁断時、わ になった部分にもノッチを入れます。

※ノッチとは、縫い代に 0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

伸び止めテープ(もしくは接着芯)を貼ります(※本仕様書では省略しています。)

「後身頃の SL」に伸び止めテープを貼ります。

~その他縫製ポイント~

「フード口」「袖口」「裾」のロック時は、縫い合わせパーツの寸法の短い方を上にして伸ばし付けをします。

### SL

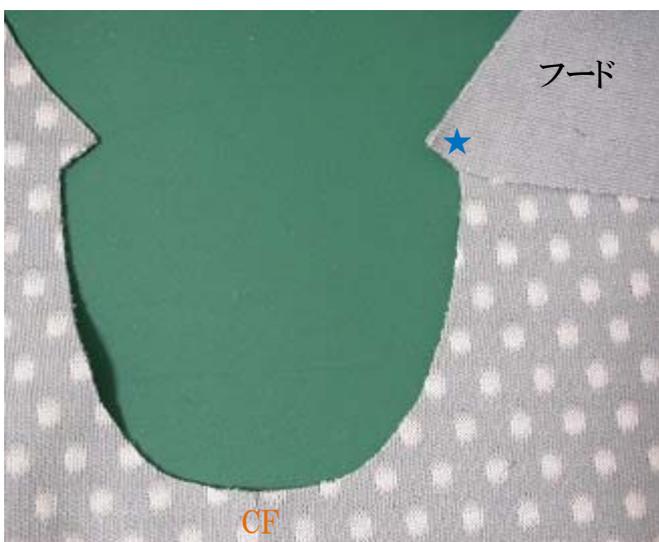
「前・後身頃の SL」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾のロックで縫い合わせます。



### フード・衿ぐり



「左右のフード」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾のロックで縫い合わせます。

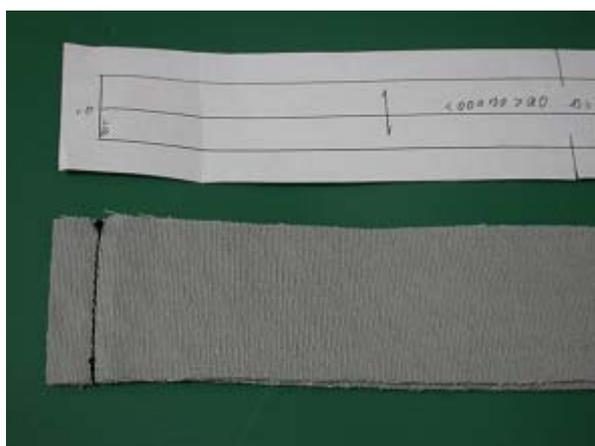


「身頃の衿ぐり」と「フード」を中表に重ねます。

※フード止まりの縫い代を合わせます。(★印)

5 mm切り落としながら5 mm巾のロックで縫い合わせます。

※SLの縫い代は後身頃側に倒します。



「フードロパーツ」を中表になるよう「わ」で折ります。

「フードロパーツ CB」を直線ミシンで縫い合わせ、縫い代をアイロンで割ります。



「フードロパーツ」を外表になるよう半分(巾)に折ります。

「衿ぐり~フードの表面」に「フードロパーツ」を重ねます。



※「わ」の方向に注意



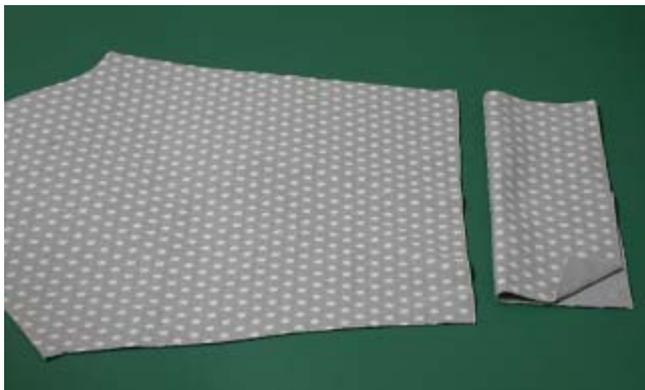
5 mm切り落としながら 5 mm巾のロックで縫い合わせます。

※同寸ではないので、フードロパーツは伸ばし付けになります。

※フード止まりの縫い代は身頃側に倒します。



## 袖

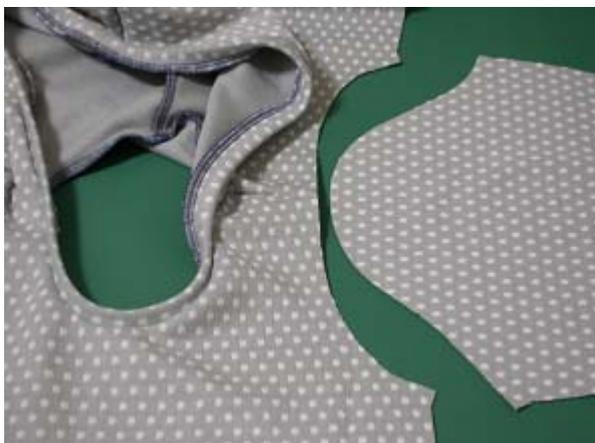


「袖口パーツ」を**外表**になるよう半分（巾）に折り、「袖の**表面**」に重ねます。

5 mm切り落としながら5 mm巾のロックで縫い合わせます。  
※同寸ではないので、袖口パーツは伸ばし付けになります。



「身頃」と「袖」を**中表**に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾のロックで縫い合わせます。  
※左右の袖を間違えないよう注意します。



## 袖・身頃 脇縫い



「袖口～身頃脇」を中表に重ねます。



5 mm切り落としながら5 mm巾のロックで縫い合わせます。

- ※袖口側から縫い始めます。
- ※袖口切り替えの縫い代は袖側に倒します。
- ※AHの縫い代は身頃側に倒します。



袖口の縫い代を後側に倒し、直線ミシンでおさえます。

## 裾



「裾パーツ」を**中表**になるよう「わ」で折り、「裾パーツ左脇」を直線ミシンで縫い合わせ、縫い代をアイロンで割ります。



「裾パーツ」を**外表**になるよう半分(巾)に折ります。



「身頃の**表面**」と「裾パーツ」を重ねます。

5 mm切り落としながら5 mm巾のロックで縫い合わせます。

※同寸ではないので、裾パーツは伸ばし付けになります。

※ロックをかける時は裾パーツを身頃の内側に入れ、覗き込む姿勢で縫い進めます。



-----完成-----

### その他



衿ぐり～フード口の跳ね返りが気になる場合は、直線ミシンでおさえます。

※衿ぐりを伸ばさないよう注意します。